

七尾みなと ロータリークラブ



クラブテーマ「ブラッシュ アップ ロータリー」 <姉妹クラブ> カーメル・バイ・ザ・シー RC
<友好クラブ> あづみ野 RC

第 1414 回例会 2016 年 4 月 26 日 (火) 12:30 開会点鐘 於 番伊 ロータリーソング「それでこそロータリー」

次年度のためのクラブフォーラム

戸田会長エレクト基本方針 ・ 地区研修協議会報告

第 1412 回例会(4/12)報告

進行：徳永 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 木下敬夫 会長

桜の花も盛りを過ぎてもう散り始めました。小丸山公園の交差点にピンクの絨毯のように花びらが敷き詰められたようになっています。花見のまだの方は早めに行ってみられたらいかがでしょうか。先週も色々ロータリーの行事が有りました。6日には新会員の情報委員会が開催され、藤本君を対象に姥浦パスト会長に講師を努めていただきました。短い時間で全てを理解することは無理ですがとにかく出席することが一番大事だということは伝わったと思います。8日には七尾特別支援学校の入学式に出席し小・中・高校生 36名の入学を祝いました。山辺校長先生の言葉に「忍耐を持って生徒の出来る事をひとつでも伸ばしていく」という式辞が印象的でした。10日は次年度の為の地区研修協議会が砺波市において開催。15名参加していただき、新会員も4名参加されご苦労様でした。不易流行の話をされた高野孫左衛門様、持続可能の話をされた舟木いさ子様。きっと次年度に役立つと思います。話は変わりますが、9日には念願の観光交流センターがオープンしました。女優の野際陽子さんが一日館長を務められ多くのお客様が訪れ、JRの花嫁のれん号に乗ってきたお客さんも来ました。今後も多くの人に訪れてもらい七尾に新しい人の流れが出来ることを期待します。今日も楽しい例会になることをお願いいたし挨拶とします。

◎幹事報告 中出 幹事

・4/22(金)合同例会(物故会員法要例会)について
12:00 開始(11:50 頃までに集合)

駐車場に限りがあります。乗り合わせお願い

◎出席報告 奥井 出席小委員長

会員総数 46名(内、出席規定適用の免除者3名) 出席者 34名
メイク

4/10 2016-17 年度のための地区研修協議会：

戸田、今井、所司、中野、中越、桑原、木下敬夫、
鳥畑、松井、田中、寺田、長、浜田、長坂、藤本
第 10 回理事会(3/29)承認分

4/5 七尾特別支援学校入学式：木下敬夫

◎ニコニコ箱紹介 西野 クラブ奉仕委員

木下敬夫 太田さん、ようこそみなと RC へ！
卓話を楽しみにしています。

木下徳泰 太田様、本日はようこそ、七尾みなとロータリークラブへありがとうございます。

戸田 先日の地区研修協議会ご苦労様でした。シッカリ勉強してきたので、お互い疲れましたね。

桑原 太田殖之様、ようこそ。希望の見える能登の話、楽しみです。よろしくお願い致します。

茶谷 4月10日はご利用ありがとうございました。本日は太田様、都会からの移住促進のため卓話をお願いします。

今井 桜も散りよいよよデカ山の時期になります。祭り関係の方々頑張って下さい。

松井、伊藤、中越、中野、山本勝義、久保、森、
勝木、岡崎、松野、長

ぶなの森プランナー兼デザイナーの太田様、ようこそ七尾みなと RC へ、卓話楽しみにしております。

月	日	曜	プログラム	週報担当
4	26	火	次年度クラブフォーラム	山本(勝)
5	3	火	休会(憲法記念日)	—
5	10	火	新会員卓話 藤本真一郎 会員	勝木
5	17	火	ロータリーアワード顕賞	浅野
5	24	火	クラブフォーラム(創立30周年記念実行委員会)	高橋

創立1986年6月15日
RI 認証1986年6月26日
【国内第1721】

会 長 木下 敬夫
副 会 長 木下 徳泰
副 会 長 松井 聡
幹 事 中出 信行
広報ニューメンバー委員長 岡崎 敬規



4/12 日計 19,000 円 累計 1,098,700 円

◎ゲスト卓話 榊ぶなの森

プランナー兼デザイナー 太田殖之 氏

私は北海道で生まれ、東京で育ちました。3年前、長女が小学校にあがるのを機に妻の出身地である七尾市へ移住してきました。自然、祭り、文化が色濃く残る七尾で子育てをしていきたいと思ったからです。

七尾市へ来る前は、WEB サイト構築やグラフィックデザイナー、ITベンチャー企業で企画・マーケティングなどに従事し、この10年くらいは国内の様々な地域で行政などと地域活性化のお手伝いを仕事にしてきました。仕事を通じて、地方の現状を知るにつれ、東京にいるのではなく、地方へ出て仕事をしたいと考えたのも、七尾へ来たもうひとつの理由です。

今日は活動を開始してからちょうど丸3年経ちました「一般社団法人能登定住・交流機構」の成果についてお話したいと思います。

我々の活動は能登へ「担い手となる若い人財」を誘致することを目的としています。20～40代の若者、子育て世代がターゲットで、特に将来的に起業を考えている方や企画業務の経験や経営スキルを有する方などに能登へ来て頂きたいと考えています。こうした人財を誘致することで、将来的に雇用や産業の創出に繋がっていただければと考えています。

若い層を誘致するには、将来的に起業などを考えていても、家庭などもありますし、まずは当面の仕事を探さなくてははいけません。ハローワークには能登9市町だけでも常時3000件近くの求人情報が出ていますが、求人票だけでは、その仕事や事業者の魅力は伝わりません。そこで我々は可能な限り、経営者などの責任ある立場の方にお会いし、事業への想いや求める人財像などをお聞きし、移住希望者への情報提供として活かしています。

移住希望者が能登を訪れた際には、私のような

移住者がアテンドを行いながら、能登や七尾に対して熱い想いを持つ経営者や区長さん等を訪ね、直接お会いして頂き、話を聞いてもらうようにしています。能登で生まれ育ち奮闘されている方の想いや声が、移住するかしないかの最後の決め手になっています。

七尾にも、人財を必要とし想いを持っている経営者の方々がたくさんいらっしゃいます。ぜひ、そうした方々をご紹介頂き、移住を考えておられる若者へ伝えていただければと思います。

これまで、1年目に5件11人、2年目に8件9人の移住者を獲得し、3年目には15件38人と3倍程度に数が増えています。昨年度は問い合わせ件数も例年の3倍以上となる72件132人の方からご相談を頂いています。移住に至るまで1～2年程度の期間がかかることから、今年度は更に移住者の方が増えることが予想されます。既にこの4月、5月で17名の方の移住が決まっています。

問い合わせ件数が伸びた大きな要因は、昨年度、「体験」をキーワードにしたプログラムを設置しました。仕事体験、暮らし体験など、移住の前に実際に暮らし・仕事をして頂くことで、地域の方、仕事仲間になる方との交流を通して、移住に向けた具体的なイメージを持って頂いています。

昨年度の72件の問い合わせ中、51件が体験プログラムの告知を見て問い合わせがあり、体験の前に一度、体験先を見学に来訪をされています。実際に体験せずにその場で就職や移住を決められる場合もあり、移住検討者にまずは能登へ来ていただくには有効なプログラムであると考えています。

◎閉会点鐘

〔週報担当：伊藤〕

次回予告

5月3日(火) 法定休会 (憲法記念日)

5月10日(火) 12:30開会点鐘 番伊
新会員卓話 藤本真一郎 会員

今週の例会担当者： 茶谷、西野、魚岸、
(4/26) 多田、木村

次回の例会担当者： 茶谷、西野、魚岸、
(5/10) 多田、木村